

44 回生英語科よりお知らせ

(総合英語)

2020.05.19

●既に出題している課題について

完了しているものについては、速やかに

3 年次の課題提出用アドレスにファイルを添付して提出してください。

◎提出するもの

① LINK UP GREEN 版 Lesson1-Lesson6, Extra Lesson1

② 【追加】LINK UP GREEN 版 Lesson7-Lesson10

※見開きで画像を処理してもらってかまいません。

※すべてまとめて PDF にしても
らってかまいません。
両面のものは片面ずつ読み
取って、読み取れるよう
PDF または画像で添付して
ください。

※メールでの送信ができず、郵送になる場合はコピーでもかまいません。

他教科とまとめて 22 日必着で郵送してくること

●5/18～5/24 の課題について (5/25 以降の課題については 5/25 連絡します)

・LINK UP 英語総合問題集 GREEN 版

Extra Lesson2, Lesson-11-12 (pp.24-29)

→完了したら、丸付けをして課題提出用アドレスにファイルを添付して提出

★提出締め切りは 5 月 22 日 (金) です！



- 1 ① make it sound as attractive as possible
② (A) ② (B) ① (C) ④
③ (2) ③ (3) ④ ④ ④
2 (1) ② (2) ④ (3) ② (4) ④
3 (1) ③ (2) ② (3) ②

4 (1) If I had finished [done] my homework yesterday, I could go out with my friends today.

(2) Do you know (the reason) why this book is so popular?

(3) The population of Yokohama is almost [nearly] as large as that of this city.

1 長文読解 広告における3つのルール

◆◆◆全訳◆◆◆
[阪南大]
広告の目的は私たちに何かを買いたいと思わせることである。商品を売るためには、広告業者たちはその商品ができるだけ魅力的に思えるようにしなければならぬ。はばあゆる種類の広告において、彼らが従ういくつかのルールがある。

広告業者たちにとつての第1のルールは、私たちの注意を引くことである。彼らはよく私たちの手を止めさせるような手法を用いる。それから、彼らは私たちが広告を読むか、耳を傾けることを期待する。雑誌では、よくわくわくするような写真や、「百万長者になれば、よくわくわくする」というような劇的な言い回しを用いて行われる。

私たちの注意を引くと、第2のルールが効果を発揮する。つまり、私たちがその商品を買いたいと思っていると、私たちに感じさせることである。しばしばその商品は私たちが実際に必要としないものなので、広告業者たちは私たちにそれが欲しいと思わせなければならない。たとえば、あるクリームを使えば、私たちが今より魅力的になり、長生きをし、気分がよくなると、広告業者たちは私たちに言うかもしれない。ときとして、広告業者たちは有名な運動選手や映画スターがある商品を使っているところを写し出して、その商品を買えば、私たちがそのような人物により近づけるのだ

と、私たちに訴えかける。
最後に、広告業者たちは自分たちが本当のことを言っているのだと、私たちに確信させる必要がある。第3のルールは、私たちに証拠を示すことである。広告業者たちの中には統計を用いるものもある。また、ある広告業者たちは繰り返しききについて語る歯科医や、あるビタミン剤を勧める医師といった人たちの言葉を利用する。私たちはよく数字を事実と考えたり、常日ごろ医師の判断を信頼するので、その商品を信用し始めるのだらう。

✓CHECK

- 1 purpose [pʊrps] 「目的」
② advertising [ədˈvɜːtɪzɪŋ] 「広告(すること)」
(make (使役動詞)+O+原形不定詞) 「Oに～させる」
させる」 "make it sound ~" (I. 2), "make us stop ~" (I. 5), "make us feel ~" (I. 8), "make us want ~" (I. 9-10) も同様。
product [prɒdʌkt] 「商品」
2 advertiser [ədˈvɜːtɪzər] 「広告業者」
sound [saʊnd] 「～に思われる、聞こえる」
attractive [əˈtræktɪv] 「魅力的な」
3 follow [fɒləʊ] 「～に従う」
4 ② capture [kæptʃər] 「～を引きつける、捕らえる」
② attention [əˈtenʃən] 「注意」
5 that we will ~ 名詞節を導く接続詞 that. この名詞節は hope の目的語となる。
6 ② advertisement [ədˈvɜːtɪzəmənt] 「広告」
it is often done with it is to capture our attention (I. 4) を指している。
② dramatic [drəˈmætɪk] 「劇的な」
7 statement [ˈsteɪtmənt] 「言葉」
millionaire [mɪljənɪər] 「百万長者、大金持ち」
8 go into effect 「効果を発揮する」
11 a certain [sɜːrtən] 「ある、某～」
show ~ doing 「～が…しているところを写し出す、示す」
athlete [ˈæθli:t] 「運動選手」
12 ② suggest [səˈdʒest] 「～を提案する」
13 convince [kənˈvɪns] 「～を確信させる」
14 Some ~, Others ~ 「～するものもいれば、～するものもある」
② statistics [stəˈstɪks] 「統計(学)」
15 dentist [ˈdentɪst] 「歯科医」

talk about ~ 「～について話す」
recommend [rekəˈmend] 「～を勧める」
vitamin [vaɪˈtæmɪn] 「ビタミン(剤)」 発音注意。

!POINT

- ① (make+O+原形不定詞) 「Oに～させる」
sound C(形容詞) 「Cのように思われる」
as ~ as possible 「できるだけ～」
② (A) (what+S+V) 「SがVすること【もの】」
(B) 直後の Some advertisers use statistics, および Others use statements from people, ... などから、evidence 「証拠」が妥当。
(C) think of ~ as ... 「～を…として考える」
③ 下線部(2)の that は関係代名詞で、先行詞は something. 下線部3の that は名詞節を導く接続詞で、この節は suggest の目的語である。
① 「あれは私のオーバーコートで、これがあなたのものです」
指示代名詞の that.
② 「私たちは決心しなければならぬ、しかもすぐだ」
前文を受ける指示代名詞の that.
③ 「今日届いた手紙を見たいかい?」
letter を先行詞とする関係代名詞の that.
④ 「僕は彼が来るのは可能だと思つた」
名詞節を導く接続詞 that. 形式目的語 it の内容を表す。

- ④ ① 「広告業者たちは私たちに何かを買いたいと思わせるために4つのルールに従わなくてはならない」
four rules が誤り、本文中で示されるルールは3つ。
② 「私たちは、わくわくするような写真や劇的な言い回しで載っている雑誌を読むのが大好きである」
「読むのが大好き」(love to read) と言っていない。
③ 「私たちの注意を引くために、広告業者たちは大金を費やしている」
「大金を費やす」(spend a lot of money) と言っていない。
④ 「広告業者たちの中には、彼らが本当のことを言っているのだと、私たちに確信させるために統計を用いるものもある」 I. 13-14 を参照。

- ⑤ 「もし私たちが医師の判断を信頼すれば、長生きすることに役立つだろう」
「医師の判断を信用すれば長生きできる」とは言っていない。

2 語彙知識

- (1) 「彼には3人の息子がいて、そのうちの1人は医者だ」
one of whom is and one of them と言いかえられ、
(2) 「これは私がこれまで見た写真の中で最も美しい写真だ」
(the+最上級...+②+(that)+S have ever+過去分詞) 「Sがこれまでに～した中で最も…な【図】」
(3) 「君はもう宿題を始めてもよいころだ」
(It is time+仮定法過去) 「～してもよいころだ」
(4) 「もし君の忠告がなかったら、私は失敗したかもしれない」
if it had not been for ~ 「もし(過去に)～がなかったら」

3 同意文完成

- (1) 「もしもう少し時間があつたならば、私は試験に備えることができただろうに」
if を使わない仮定法 with ~ 「(今/あのとき)～があれば」
(2) 下の文は「これは有名な画家が描いた絵です」の意味。picture の後ろに目的格の関係代名詞(which [that])を補って考える。
(3) 「時間ほど貴重なものはない」
(Nothing is+比較級+than ~) 「～ほど…なものはない」

4 完全英作文

- (1) 「(あのとき)～だったなら、(今)…なのに」 (If S+仮定法過去完了, S+仮定法過去) の形。
(2) the reason why ~ 「～の理由」 why は関係副詞。
(3) 「だいたい同じだ=だいたい同じくらいの数だ」と考えて、almost [nearly] as large as とする。比較するのは「横浜の人口」と「この市の人口」なので、that [=the population] of this city とする。なお、The population of Yokohama is almost [nearly] the same as that of this city. と表現できる。

11 否定

(本冊 p.26-27)

- 1 ① 通貨は常に硬貨と紙幣の組み合わせであつたわけではない。

② (A) ① (B) ③

③ ② ④ ⑤

2 (1) ③ (2) ① (3) ② (4) ③ (5) ④

3 (1) hardly (2) nothing (3) nothing, but (4) last

4 (1) Aya is far from a good dancer, but she enjoys dancing.

(2) Never did I dream of marrying a sumo wrestler.

1 長文読解 硬貨と紙幣の起源

◆◆◆全訳◆◆◆

(近畿大)

今日、通貨は硬貨と紙幣の組み合わせである。しかし、常にそうであつたわけではない。金属の硬貨や紙のお札を持つ前には、人々は多くの珍しいものをお金として使った。たとえば世界のある場所では、人々はサメの歯をお金として使った。またいくつかの場所では、明るい色の鳥の羽や珍しい貝殻がお金だった。ある地域の人々は、象のしっぽから取った毛ささえもお金として使った。

人々がいつ金属の硬貨をお金として使い始めたのか、正確にはわからない。最古の硬貨は2500年以上前のものなので、人々がとても大昔に硬貨を使っていたことがわかる。最初は、人々は金や銀のような貴重な金属を使って硬貨を作った。彼らは人間や動物の形をそれぞれの硬貨に刻みつけ、その価値を示した。

13世紀に、中国の人々が紙製の硬貨を通貨として使った。これらの硬貨にはあまり大きな価値がなかった。そこで、人々は物を買うのに多くの硬貨を使わねばならなかった。これらの硬貨を多く持ち運ぶのは不便だったので、政府は紙の領収書を作り始めた。人々はこれらの領収書を銀行へ持って行き、硬貨と交換した。これが、紙幣の最初の間であった。

今日、ほとんどの国々は硬貨と紙幣を通貨として一緒に使っている。アメリカでは、紙幣はすべて同じ大きさで色である。たとえば、1ドル紙幣は100ドル紙幣と同じ大きさで色である。他の多くの国々では、紙

幣は異なる大きさで色を持つ。小さい紙幣の方が、お金としての価値は低い。これによって人々は、お金の価値を見分けるのがより簡単になる。

✓CHECK

- 1 ① currency [kʌrənsi] 「通貨」
mixture [mɪksʃər] 「混合、組み合わせ」
coin [kɔɪn] 「硬貨」
2 metal [meɪtəl] 「金属の」
bill [bɪl] 「紙幣、お札」
unusual [ʌnju:ʒuəl] 「珍しい」
3 shark [ʃɑ:k] 「サメ」
teeth [ti:θ] 「歯」 < tooth(歯数形)
4 brightly colored 「明るい色の」
feather [feðər] 「(鳥の)羽」
rare [reɪr] 「珍しい」
seashell [si:ʃel] 「貝殻」
5 tail [teɪl] 「尾」
6 for sure 「確かに」
7 at first 「最初は」
8 precious [preʃəs] 「貴重な」
such as ～ 「たとえば～のような」
gold [ɡəʊld] 「金」
silver [sɪlvər] 「銀」
stamp [stæmp] 「～を刻印する」
shape [ʃeɪp] 「形」
9 indicate [ɪndɪkeɪt] 「～を示す」
value [vælju:] 「価値」
10 iron [aɪərn] 「鉄の」
11 worth [wɜ:θ] 「価値がある」
it was inconvenient to carry ～ このitは不定詞を指している形式主語。
12 inconvenient [ɪnkənvi:njənt] 「不便な」
government [ɡəvənmənt] 「政府」
receipt [rɪsɪt] 「領収書」
13 trade ～ for ... 「～を…と交換する」
18 This makes it easier ～, このitは形式目的語で、for people to tellを指している。また、for peopleが不定詞の意味上の主語になっている点、make + O + Cの第5文型の文となっている点にも注意。

!POINT

- ① 否定文中で always を使うと、「常に～だというわけではない」という部分否定の意味を表す。that

way「そのように」は、前文の内容(硬貨と紙幣の組み合わせ)を受けている。またitはcurrencyを指している。つまり、昔きかえれば、currency wasn't always a mixture of coins and paper money. となる。

② 「ある場所では人々は鳥の羽や貝殻をお金として使ったが、それはそれらが(色)に富み、(B)珍しいからである」H.3-4を参照。

③ indicateは「～を示す」の意味。前後の文の内容から判断する。

④ 「歴史上最初の紙幣に当てはまるのはどれか」

- ① 「それがどこで作られたかをだれも知らない」
H.6. H.13-14を参照。だれもわからないのは、いつ硬貨が作られたかということ。
② 「それは中国の銀行で作られた」
H.11-13を参照。銀行ではなく政府が作った。
③ 「人々はそれを使うのが不便だと思った」
H.11-13を参照。不便に思ったのは、物を買うのに多くの硬貨を使うこと。
④ 「それは硬貨に交換することができるとの領収書だった」H.13を参照。

⑤ ① 「人々が金属の硬貨や紙のお札を使う以前には、通貨はさまざまな形を持っていた」H.12を参照。

② 「最も初期の硬貨は、例えば銀のような金属でできていた」H.7-8を参照。鉄ではなく、金や銀を使っていた。

③ 「人々は紙のお金を使い始めるずっと前から、硬貨を使っていた」H.6-7. H.11-14を参照。紙幣が初めて使われたのは13世紀の中国であり、硬貨はそれよりずっと以前から使われていた。

④ 「多くの国々では、紙幣の大きさと色はその金属の価値と関係がある」H.17-18を参照。

2 アクセント

- (1) ① relation [rɪkeɪʃən] 「関係、関連」
② performance [pə:fɔ:məns] 「上演、演奏」
③ influence [ɪnfluəns] ④ 「影響」 ⑤ 「～に影響を及ぼす」
④ determine [dɪtərmin] 「～を決定する」
(2) ① temperature [temperəʃər] 「温度、気温」
② development [dɪveləpmənt] 「発達、発展」
③ environment [ɪnvəɪrənmənt] 「環境」

④ society [səʊsaiəti] 「社会」

(3) ① difference [dɪfərəns] 「違い」

② ambitious [æmˈbɪʃəs] 「大望を抱いている」

③ intimate [ɪnɪmət] 「親密な」

④ government [ɡəvənmənt] 「政府、政治」

(4) ① proportion [prəˈpɔ:ʃən] 「割合、比率」

② invention [ɪnvenʃən] 「発明」

③ minister [mɪnɪstər] 「大臣」

④ phenomenon [fɪnəˈmɪnəm] 「現象」

(5) ① uniform [ˈju:niˌfɔ:m] 「制服」

② satisfy [sætɪsfaɪ] 「～を満足させる」

③ realize [rɪˈaɪz] 「～を理解する」

④ museum [mju:ziəm] 「博物館」

3 同意文完成

- (1) 「大雨のために私は昨夜ほとんど眠れなかった」
hardly(ほとんど)～ない」という否定の意味を表す副詞。③ hard とは意味が異なるので注意。
(2) 「これが、私があなたのためにできるすべてのことだ」→「私はあなたのためにできるこれ以上のことを何も持っていない」下線を nothing で表す。
(3) 「先週の日曜日、彼はハンバーガーとサラダしか食べなかった」
nothing but ～「～しか、～だけ」このbutは前置詞。

(4) 「赤以外ならどんな色でもあなたに似合うだろう」→「赤はあなたに最も似合いそうにない色だ」
the last ～ to ... 「最も…しようにない～」 would は仮定法。

4 語句選択

- (1) 否定語を使わない否定。
far from (being) ～「～からほど遠い→」決して～ではない」
(2) 強調のための倒置の構文。neverなどの否定語(句)が文頭にくると、そのあとは必ず疑問文の語順となる。

1 ① ② 女性ドライバーの方が男性より

りも事故を起こしにくく、事故の程度も軽いということ。

③ ① ④ (1) ③ (2) ③

④ (1) ④ (2) ③ (3) ④ (4) ④ (5) ②

⑤ (1) What, makes (2) enabled, him (3) brought

(4) wasn't, until, that

⑥ (1) This medicine will soon make you (feel) better.

(2) It was last September that Naoki entered a college [university] in America.

1 長文読解 女性ドライバーは危険か？

◆◆◆全訳◆◆◆

(実践女子大)

運転免許の取得は、どんな若い成人の人生でも重要な節目である。しかし、人がひとたびドライバーになれば、彼らは昔から続く文化的偏見に自分が捕らわれていることがわかる。女性は感情的すぎて予測できない(行動を取る)から、女性は運転が下手だという考えがその通例である。

今日、労働力の半分以上は女性から成り、女性の多くが車で仕事場へ通勤している。しかし、路上では女性の方が男性よりも危険であるという主張を裏付けている証拠はない。相当数の女性ドライバーを雇っている、大都市にある大手タクシー会社の広報担当者は、女性ドライバーの方が男性よりも事故を起こす機会が少なく、それらの事故は男性の場合ほど深刻ではない性質を持つと述べた。このことはおそらく、女性ドライバーの方が男性の同僚たちよりも用心深く、特にその都市の速度制限に関してはそうであることを示すものであろう、と彼はが述べた。

ペンシルバニア州の公共安全の研究者は23年間自動車教習の教官であったが、数年前彼は、女性はその車や機密な法律を男性よりもはるかに尊重すると述べた。もし女性に欠点があるとなれば、それは女性が過度に用心深い傾向にあるということだと彼は言った。男性が冒してしまうような危険を女性は冒さない傾向

tend to do 「～する傾向がある」

15 overcautious [ouvə'kɔ:ʃəs] 「過度に用心深い」

take a risk 「危険を冒す」

16 standpoint 「見地、観点」

17 superior [sɪ'ʊəriər] 「(より)優れて」

POINT

① 下線部1の that は「～という(考え)」という意味の同格節を作る接続詞で、(2)の that が同じ用法。(3)は主格の関係代名詞、(4)は state の目的語になる名詞節を作る接続詞、(7)は補語になる名詞節を作る接続詞。

② This は直前の文中の stated that 以下の内容を受けている。

③ they は直前の文中の women を指す。

④ (1)「どれが女性ドライバーに当てはまるように思われるか」

①「女性は男性よりもゆっくりに運転する傾向がある」本文には書かれていない。②「女性ドライバーの欠点は感情的すぎることである」これは偏見であり事実ではない。③「女性は男性よりも交通ルールを厳しく守る傾向がある」本文 13-14 を参照。④「女性は男性よりも自動車教習の教官の言うことを注意深く聞く」本文には書かれていない。

(2)「ペンシルバニアの自動車教習の教官にとって女性の方が教えやすかったのはなぜか」

①「女性は危険を冒す傾向があったから」11-15 を参照。危険を冒すのは男性の傾向。②「女性は過度に用心深かったから」11-14-15 を参照。これは女性の欠点として述べられている。③「女性は男性よりも用心深かったから」11-15-16 を参照。④「女性は男性よりも覚えが早かったから」11-16-17 を参照。本文には「男性と同じくらい早く覚えたとある。」

2 イディオム

(1)「彼は彼がわざとそれをしたのだと思う」

on purpose 「わざと、意図的に」

① unconsciously 「無意識に」

② carefully 「注意深く」

③ generally 「一般的に」

④ intentionally 「故意に」

(2)「もう彼女には耐えられないよ、不平を言うのをや

めないんだよ」

put up with 「～に耐える」

① forget 「～を忘れる」 ② lead 「～を導く」

③ bear 「～に耐える」 ④ chase 「～を追跡する」

(3)「その新しい法律は多くの不平を引き起こすだろう」

① give rise to 「～を引き起こす」

② change 「～を変化させる」 ③ stop 「～を止める」

④ remove 「～を取り除く」 ⑤ cause 「～を引き起こす」

(4)「その議論に参加しますか」

take part in 「～に参加する」

① enjoy 「～を楽しむ」 ② admit 「～を認める」

③ separate 「～を分離する」 ④ join 「～に参加する」

(5)「今夜、私に電話するのを忘れないでね」

give ~ a ring 「～に電話する」

① engage 「従事する」

be engaged to ~ 「～と婚約している」

② call me 「私に電話する」

③ visit me 「私を訪ねる」

④ propose to me 「私に結婚を申し込む」

3 同義文完成

(1)「今朝はなぜそんなにうれしそうなのですか」-「今朝は何があなたをそんなにうれしそうにさせているのですか」

make + O + do 「O に～させる」

(2)「奨学金のおかげで、彼は一流の大学に入学することができた」

thanks to ~ 「～のおかげで」(S + enable + 人 + to do) 「Sのおかげで人は～できる」

prestigious [prestidʒiəs] 「一流の、名のある」

(3)「2時間歩いた後、彼らは橋のところへ来た」(S (物など) + bring + O (人) + to ~) 「S によって O (人) が～に至る」

無生物主語の文。Two hour's walk でなく Two hours' walk であることに注意。

(4)「駅に着いて初めて、財布を持ってくるのを忘れたことに気づいた」

It is [was] not until ~ that ... 「～して初めて…する[した]」(強調構文)

4 部分英作文

(1) 無生物主語の構文。If you take this medicine, you'll get [feel] better soon. と言いかえることもできる。

(2) It is [was] ~ that ... 「…のは～だ[だった]」の形の強調構文を使って、last September を強調する。